

NPO法人リカバリーについて

“recovery”という言葉は、病いや障害のために失ったものを取り戻すことを意味します。病気は元に戻せないかもしれないけれど、自分が望む生活を実現する力や夢は取り戻すことができます。

2002年9月、さまざまな被害体験を背景に病気や障害に苦しむ女性への援助を目的に、NPO法人リカバリーを立ち上げました。人の中で負った傷は人の中で快復していくのだと、私たちは考えています。そしてさまざまな暮らしの営みを通じて、人は変化し成長することを信じています。

法人は現在3つの事業所を運営していますが、この他にも市民や専門職向けの講演会やワークショップなどを行っています。財源は訓練等給付が中心ですが、今後は自主財源の拡大をめざして新しい事業の展開を模索中です。私たちの活動をサポートして下さる賛助会員(年会費¥5,000)を募集しておりますので、関心のある方はどうぞ活動の様子を見学しにいらして下さい。

法人事務所：郵便番号065-0033

札幌市東区北33条東15-1-1エクセレムビル4F

電話(011)374-6014 FAX(011)374-6041

mail recovery@phoenix-c.or.jp

リカバリーハウスそれいゆ

定員6名：共同生活型(一軒家)です。基本的な生活習慣を確立することから細かくサポート。当直が入ります。

ステップハウスそれいゆ

定員5名：独立生活型(マンションタイプ)です。少しの支援があることで、単独生活が可能になる人が対象です。

女性が安全に暮らせる社会を実現しよう

NPO法人リカバリー



トラヴァイユそれいゆ

定員20名：就労継続支援B型

“働くこと”を“暮らし”のなかにどう位置づけていくのか。社会と繋がり、人の中で生きていくために、様々なプログラム活動と作業を通じて考えます。

“それいゆ”でおこなっていること

病気や障害を抱える女性が、社会で生きる力を取り戻すために活動しています。

- ＊女性が安全に暮らせる場を提供しています。
- ＊女性が再び社会に参加する準備を応援します。
- ＊女性が人と繋がっていくための、言葉を伝えます。
- ＊社会に女性の抱える困難を知らせます。

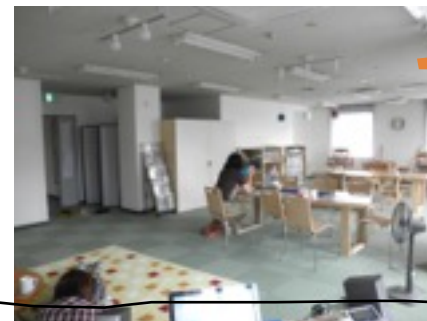
“それいゆ”では「食べること」をととても大切にしています。しっかりと栄養を身体にとり入れることで、こころの揺れが収まってくることは少なくありません。グループホームでも就労継続支援B型でも、「食べること」の変化を通じて、メンバーが元気になっていく様子を見ることが出来ます。

＜快復には長い時間が必要＞

ひとくちに“被害体験”といっても実に多様です。何十年も前の出来事が、つい昨日のようによみがえることもあり、変化や成長には長い時間が必要です。

“それいゆ”では、自分に起こっていることを言葉で表現するだけでなく、委託作業(DM発送、菓子詰め等)やカフェでの仕事、またsamasama(ビーズアクセサリーの制作及び販売)や創作活動を通じて、自分が抱える課題と向き合う時間を過ごします。このほかにも、「ボディーワーク」と呼ばれる、自分の身体をメンテナンスすることにも力を入れています。

また元気になると、自分が社会から必要とされていると感じる体験が非常に重要です。“それいゆ”を通過して、彼女たちが自分のペースで働ける場へ送り出します。しかし、社会には彼女たちが安心して働ける場所がまだまだ不足している現状です。



トラヴァイユそれいゆ

開所日は毎週月曜日～金曜日。
グループワークの他に就労支援・復職支援を行っている。プレ就労の場としてカフェを運営している。



リカバリーハウスそれいゆ

5LDKの一軒家で共同生活をしながら、基本的な生活習慣の確立をめざす。スタッフの当直など手厚いサポート体制あり。



ステップハウスそれいゆ

1DKの居室で生活しながら、アルバイト就労やデイケア通所などが定着することをめざす。食事提供や手続き同行など多様な支援。

NPO法人リカバリーでは、社会福祉士／精神保健福祉士といった専門職スタッフ6名と、ピアスタッフ2名が働いています。